

第2回南陽市立荻小学校・宮内小学校統合準備委員会議録(概要)

日時: 令和5年6月22日(木)

午後6時30分～8時00分

場所: 宮内公民館 2階 中会議室

1 出席者(15名)

川合統合準備委員会委員長、我妻副委員長、菊地荻小 PTA 副会長、加藤宮小 PTA 副会長、山口吉野公民館長、星宮内公民館長、小林金山公民館長、吉水荻小学校長、佐々木荻小学校教頭、八島宮内小学校長、吉田宮内小学校教頭、鈴木管理課長、佐野学校教育課長、加藤管理課長補佐、志賀学校教育課長補佐

2 委員長挨拶要旨(川合委員長)

前回委員会では、今後のスケジュールや各部会での協議事項について話し合いをした。今回は部会毎、作業の進捗状況を報告し、次回に向け協議継続すべき事項や決定事項について確認していく。

3 報告事項要旨(鈴木管理課長)

○前回協議事項の確認

・基本的には委員会全員で確認をとっていくが、構成部会ごと担当者を決定し、それぞれの担当で話し合いを行っていく。

→担当構成員の記載された表を提示し報告(別紙資料「部会構成員について」参照)

4 協議事項要旨(座長 佐野学校教育課長)

(1) 各部会の進捗状況について

①総務部会

○校旗・校歌・校章について荻小学校区からの意見聴取(報告: 荻小学校長)

・荻小学校運営協議会の場で意見交換を実施

・ほとんどの保護者は校旗・校歌・校章を残してほしいという要望は無い

・少数の保護者から「何らかの形で残してほしい」という要望有

→「何かの行事の際に荻小の校歌を流してもらえたら」「今の1年生が卒業するまで、宮小に荻小と小滝小の校歌の額縁を掲示してもらえないか」という内容

→休校中、学校から額の持ち出しが可能なのかという意見もあり

また歌を残すのであれば、CDに録音して配布するという方法も

何らかの形として校歌等を残していく方向性でまとまったとのこと

【統合委員会で出された意見】

※宮内小学校としては、出された意見を十分検討する。

※校歌等を語り継ぐことを否定するものではないが、統合においては荻小から行く子どもたちがスムーズに受け入れてもらえるような環境づくりがまずは大事ではないか。荻小から額を持って行って宮内小に掲げるといったことが本当に必要かどうか。

※子どもたちが宮小にスムーズに溶け込むことが出来ることが第一義である一方、地域の住民の方々の感情にも配慮し、丁寧に進めていく必要があるのではないかと。

○統合により新たに発生する「体育着」「ロッカー引き出し箱」「給食着」「水泳帽」への費用負担について(説明:管理課長)

- ・前回保護者からの要望という形で出された上記については、12月補正を目途に予算化し対応予定
- ・体育着の採寸については、学校側でマルゼンスポーツ宮内店と日程調整し対応
※保護者側からお礼、特段の質問意見無し

②PTA部会

○今後の宮内小のPTA規約等について(報告:我妻副委員長)

- ・組織体制、規約については変更無し。役員の就任については個人の判断に一任
- ・荻小PTAとしては宮内小に入る形となる
- ・R6年度に、現荻小P副会長の菊地氏が宮小PTA副会長として就任予定
そのほか、荻小出身で事務局での活動を希望する方はウェルカムとのこと

③教育課程部会

○5～6月にかけて実施した荻小・宮小間の交流

- ・Zoomによるオンライン交流(5/16)、自然体験学習の事前班編成(5/25)、景観出前授業(6/6)、笹野浄水場見学(6/8)自然体験学習事前交流(6/15、16)
(報告:荻小学校長)

- ・6/26～30の交流ウィークについて(報告:宮内小学校教頭)

【統合委員会で出された意見等】

- ※各保護者側委員から、交流時の家庭での様子について情報交換。
- ※人と人との関わりであるので、摩擦が起きるという前提で臨むのが大事。
統合直後となる来年4月からが大事になるので、学校での対応のみならず、家庭においても、親がしっかりと子どものわずかな変化を見逃さないよう見つめておくことが必要。
- ※地域がどこまでその受け皿を作ることが出来るかも大事。そこに力点を置いて考えてみる。

④整備部会

○スクールバス運行にかかる試行について(説明:荻小学校長、管理課長)

- ・バスの通過時刻と乗車ポイント案について資料により説明
- ・6月最終週の交流ウィーク時に試行
- ・金山地区については、現在宮中バスに乗っているのが今後は荻小スクールバスへ乗ることに。時間だけでなくルートも変わる可能性があるので、試行しながら今後も全体的な調整が必要
- ・年明け1月にも3日間交流があるため、その時は金山の子も一緒に乗ってみてはどうか。
その際冬道のルート確認も行う

【統合委員会で出された意見等】

- ※金山地区の状況について、公民館長の意見を聞きながら協議した。
- ※学童や放課後子供教室の利用等により、行き的人数と帰りの人数が異なる。
また、低学年等が早い時間で放課となった際の対応。
- ※バス運転手が個人との契約になっていることと、人材の確保が困難な状況があり、運転手が急に出勤できなくなった場合の対応に課題がある。

○学校にある備品の整理について(報告:学校教育課長)

- ・過日学校事務担当者の会議が開催された。その中で、荻小学校にある備品や書類について、廃棄すべきものとそうでないものの選り分けも含め、準備を進める必要がある

5 その他

○荻小学校にある歴史的資料の保存・活用について(説明:荻小学校長)

- ・学校にある歴史的資料や文集等について、中にはボロボロになっているものもある。こういったものをきちんと製本をして残していったほしいと、地区から意見要望が寄せられているとのこと
- ・予算が絡むことから、市当局にも尽力いただきたく、検討してほしい

【統合委員会で出された意見等】

※(市教委として)いずれ何らかの方法でどこかに保管するということにはなるが、取扱い等については検討していく。中学校統合の際、なくなった中学校の校歌の額等については、現在旧中川中学校に保管してある。

※要望として。中川中は物置状態、小滝小は全然使用していない状態。何とかうまく活用できる道を探してもらいたい。荻小学校も、下手すると小滝小と同じ運命をたどる危惧がある。荻、小滝、中川の各学校の後利用について長期的な目で検討してほしい。教育委員会だけではなく、首長の判断も必要。いち市民の要望として伝えてほしい。

○宮内小学校の理解を深めてもらうことについて(説明:宮内小学校長)

- ・荻小学校の保護者を対象に、宮内小学校とはどういう学校かを実際に見ていただきたい。何もないと来づらい面もあると思うので、荻小の保護者あて案内を出すことも可ということ
- ・交流ウィーク期間、教育委員会にもぜひ学校の様子を見に来てもらいたい

【統合委員会で出された意見等】

※宮小からは、7月20日の参観日に荻小の保護者もという提案だったが、同日荻小も授業参観日のため、また別途協議することに。

※このような交流はすごく大事なこと。保護者が宮小と荻小の雰囲気の違いを理解することは重要だ。

6 次回委員会の日程 7月27日(木)午後7時～ 金山公民館

7 閉会